

全国の若者に新首相誕生に関する意識調査を実施 若者が求める政策は「雇用対策」 ～将来への不安は拭えず

NPO法人ドットジェイピー

NPO法人ドットジェイピーは、『若年投票率の向上』を目的に、学生を対象として、議員事務所にて就業体験を積む【議員インターンシッププログラム】を提供しております。

この度、9月1日～5日に全国の若者589名を対象に、【新首相誕生に関する意識調査】を実施致しました。学生が今回の民主党代表選挙の結果をどのようにとらえているのか、また、これから新代表に力を入れてほしい政策分野は何か、などを把握することがねらいです。

(さらに詳しいデータをご提供可能です。下記までご連絡ください。)

⇒ 広報担当： 富井武史 (大阪大学・理学部・2年生)

e-mail : koho1031@gmail.com tel : 080-5382-3270)

■調査概要

【対象】 全国の大学生、大学院生、20代の社会人 589名

(大学1年生：150名、2年生：175名、3年生：150名、4年生：66名、大学院生(修士・博士)：11名、社会人(20代前半)：20名、社会人(20代後半)17名)

【調査日】 2011年 9月1日～5日

【調査目的】

今回の民主党代表選挙の結果を、若者はどのようにとらえているか、新代表に力を入れてほしい政策分野は何か、若年層の意見を調査し、世間に発信する事を目的とする。

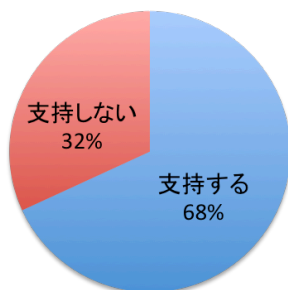
また、前回の民主党代表選挙の際に行った同様の意識調査(2010年9月14日実施)の結果と比較する。

【調査方法】 WEBアンケート (弊団体学生スタッフの配信)

■調査結果報告

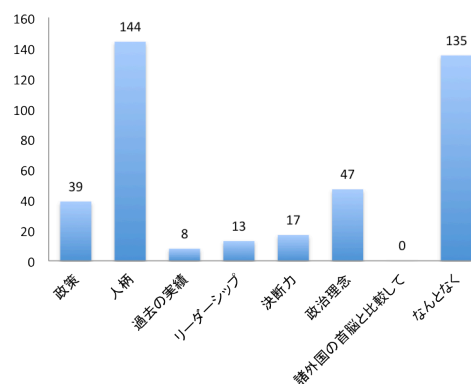
1、新代表を支持するか

民主党新代表を支持するかどうかについて調査したところ、「支持する」が68%、「支持しない」が32%であった。支持する理由で最も多かったのが「人柄」と「なんとなく」であり、政策や実績などを評価した結果ではないことが分かる。



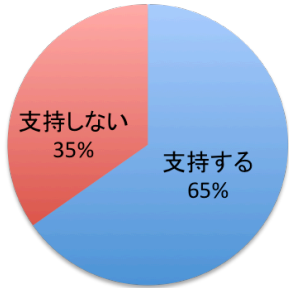
選択肢	回答数
支持する	400
支持しない	187

支持する理由

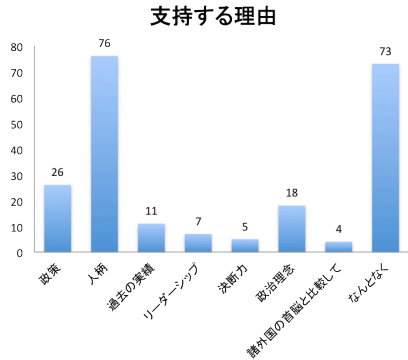


※昨年の民主党代表選挙の際の、意識調査の結果との比較

首相誕生時の支持率は、前回の代表選の際とほとんど変わらない。
また、若者が「人柄」や「なんとなく」で支持するかどうかを決める傾向は、一年前と変化していないことが分かった。

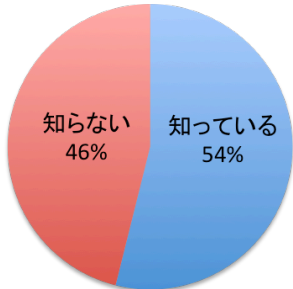


選択肢	回答数
支持する	203
支持しない	108

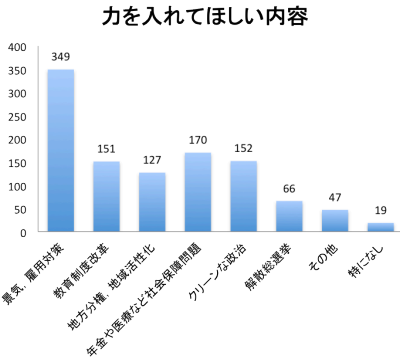
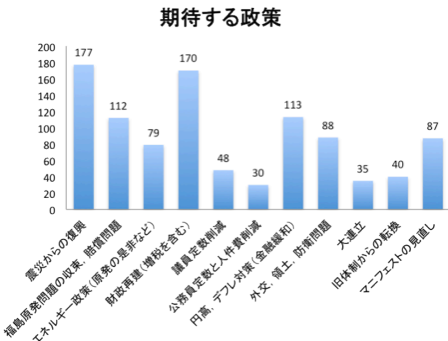


2、政策について

54%の若者が、新首相の政策内容を「知っている」と回答。
その中で「震災からの復興」に次いで、「財政再建」に期待する意見が多かった。
また、上記以外の政策で力を入れてほしい政策は「景気、雇用対策」が最多であった。
就職活動を控える学生からすると、やはり雇用に関する問題の改善を求めていると見受けられる。

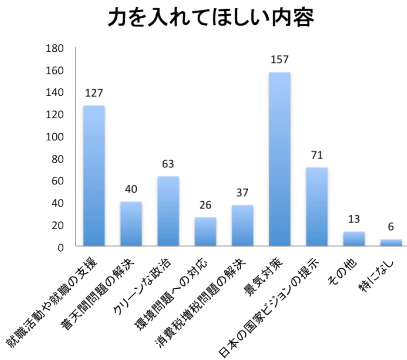
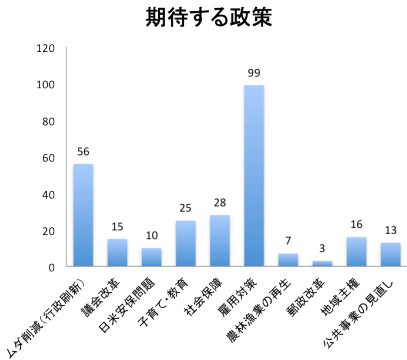


選択肢	回答数
知っている	318
知らない	272



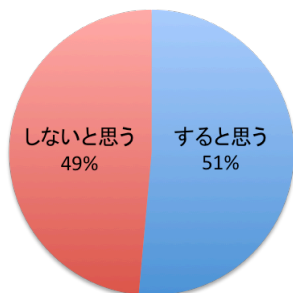
※昨年の民主党代表選挙の際の、意識調査の結果との比較

若者が「景気・雇用対策」の政策の充実を望む傾向は一年前から顕著に見られた。
この一年間で景気・雇用対策について若者が満足できる施策が実現しなかったと言える。



3、新首相は任期を全うすると思うか

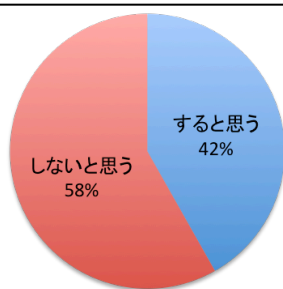
新首相は任期（2012年9月(民主党の代表の任期)まで）を全うすると思う、と半数以上の若者が回答した。



選択肢	回答数
と思う	303
しないと思う	286

※昨年の民主党代表選挙の際の、意識調査の結果との比較

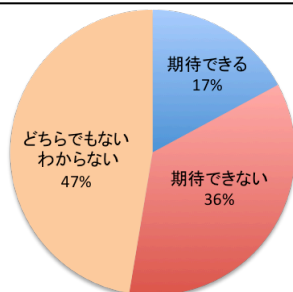
前回の代表選直後は、「任期を全うしない」と考える若者が過半数を占め、この通りの結果となった。今回、半数以上が「全うすると思う」と回答し、若者は前回よりもしっかりとした政権運営を予想している、と言える。



選択肢	回答数
と思う	130
しないと思う	181

4、未来の政治への期待感

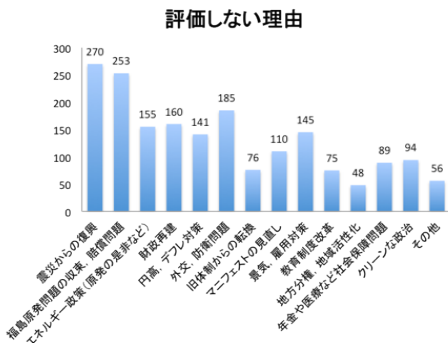
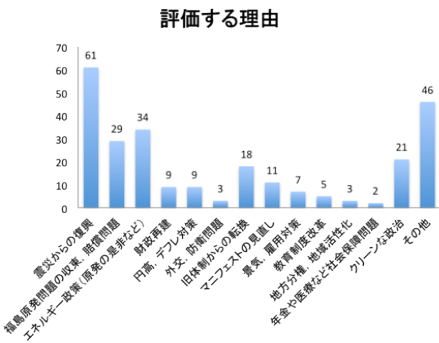
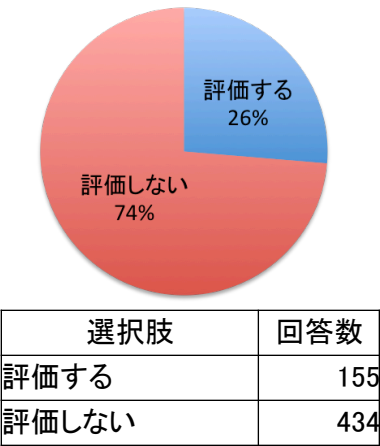
「首相が新しくなったことで、未来の政治に期待感は持てましたか？」という質問の回答は以下ようになった。「期待できる」と回答した若者は17%にとどまり、「期待できない」「どちらでもない / わからない」と回答した若者を合わせると83%にも上り、依然として未来の政治に対する不安感を拭えずにいる状況が明らかになった。



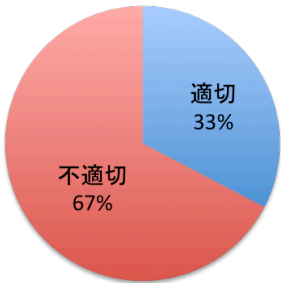
選択肢	回答数
期待できる	101
期待できない	209
わからない / どちらでもない	279

5、前首相について

74%の学生が「評価しない」と回答。
その理由には「福島原発問題の収束、賠償問題」「震災からの復興」が挙げられた。
これらは前首相を評価する理由でも挙げられていることから、「福島原発問題の収束、賠償問題」「震災からの復興」について、若者の中でも評価が分かれていることが分かった。



「前首相退任の時期は適切だったと思いますか？」という質問に対しては、過半数が「不適切」と回答した。



選択肢	回答数
適切	192
不適切	396

質問項目一覧

- 【問1】まず、あなたの所属を教えてください。
- ☐ 大学1年生
 - ☐ 大学2年生
 - ☐ 大学3年生
 - ☐ 大学4年生
 - ☐ 大学院生（修士・博士）
 - ☐ 社会人（20代前半）
 - ☐ 社会人（20代後半）
- 【問2】新首相を支持しますか？
- ☐ 支持する
 - ☐ 支持しない
- 【問3】「支持する」と答えた方に質問です。支持する理由は何ですか？（1つ）
- ☐ 政策
 - ☐ 人柄
 - ☐ 過去の実績
 - ☐ リーダーシップ
 - ☐ 決断力
 - ☐ 政治理念
 - ☐ 諸外国の首脳と比較して
 - ☐ なんとなく
- 【問4】「支持しない」と答えた方に質問です。支持しない理由は何ですか？（1つ）
- ☐ 政策
 - ☐ 人柄
 - ☐ 過去の実績
 - ☐ リーダーシップ
 - ☐ 決断力
 - ☐ 政治理念
 - ☐ 諸外国の首脳と比較して
 - ☐ なんとなく

- 【問5】新首相の政策内容は知っていますか？
- ☐ 知っている
 - ☐ 知らない
- 【問6】前問で「知っている」と答えた方に質問です。期待する政策は何ですか？ 全てお選びください。（これまでの演説等より抜粋）
- ☐ 震災からの復興
 - ☐ 福島原発問題の収束、賠償問題
 - ☐ エネルギー政策（原発の是非など）
 - ☐ 財政再建（増税を含む）
 - ☐ 議員定数削減
 - ☐ 公務員定数と人件費削減
 - ☐ 円高、デフレ対策（金融緩和）
 - ☐ 外交、領土、防衛問題
 - ☐ 大連立
 - ☐ 旧体制からの転換
 - ☐ マニフェストの見直し

【問7】上記の新首相の主要政策以外に、力を入れてほしい内容は何ですか？ 全てお選びください。

- ☐ 景気、雇用対策
- ☐ 教育制度改革
- ☐ 地方分権、地域活性化
- ☐ 年金や医療など社会保障問題
- ☐ クリーンな政治
- ☐ 解散総選挙
- ☐ その他
- ☐ 特になし

【問8】前問で「その他」とお答えした方に質問です。新首相に力を入れてほしい内容は何ですか？ できるだけ詳しくお書きください。（自由記述）

【問9】新首相は任期（2012年9月(民主党の代表の任期)まで）を全うすると思いますか？

- ☐ すると思う
- ☐ しなと思う

【問10】首相が新しくなったことで、未来の政治に期待は持てましたか？

- ☐ 期待できる
- ☐ 期待できない
- ☐ どちらでもない / わからない

【問11】前首相を評価しますか？

- ☐ 評価する
- ☐ 評価しない

【問12】「評価する」と答えた方に質問です。その理由に関わる

内容を全て選んでください。

- ☐ 震災からの復興
- ☐ 福島原発問題の収束、賠償問題
- ☐ エネルギー政策（原発の是非など）
- ☐ 財政再建
- ☐ 円高、デフレ対策
- ☐ 外交、防衛問題
- ☐ 旧体制からの転換
- ☐ マニフェストの見直し
- ☐ 景気、雇用対策
- ☐ 教育制度改革
- ☐ 地方分権、地域活性化
- ☐ 年金や医療など社会保障問題
- ☐ クリーンな政治
- ☐ その他

【問13】「評価しない」と答えた方に質問です。その理由に関わる内容を全て選んでください。

- ☐ 震災からの復興
- ☐ 福島原発問題の収束、賠償問題
- ☐ エネルギー政策（原発の是非など）
- ☐ 財政再建
- ☐ 円高、デフレ対策
- ☐ 外交、防衛問題
- ☐ 旧体制からの転換
- ☐ マニフェストの見直し
- ☐ 景気、雇用対策
- ☐ 教育制度改革
- ☐ 地方分権、地域活性化
- ☐ 年金や医療など社会保障問題
- ☐ クリーンな政治
- ☐ その他

【問14】前首相退任の時期は適切だったと思いますか？

- ☐ 適切であった
- ☐ 不適切であった

▼NPO法人ドットジェイピー <http://www.dot-jp.or.jp>

本部 東京都港区、理事長 佐藤大吾、1998年設立。

全国10支部にエリア展開し、大学生約200人が中心となって

「若年投票率の向上」を目的に活動するNPO法人。

学生を対象に議員事務所や官公庁にて、政策立案過程や行政について

就業体験を積む「議員インターンシッププログラム」を提供する。

春期（2月～3月）と夏期（8月～9月）の年2回開催しており、

これまでにのべ4,457の議員事務所と11,568名の学生が参加。

また、「Yahoo!みんなの政治」(<http://seiji.yahoo.co.jp/>)

「楽天LOVE JAPAN」(<http://seiji.rakuten.co.jp/>)への議員・議案情報提供や、

コミック「タネダミキオでございます」（新潮社）の監修など、活動は多岐に及ぶ。

（以上、2010年4月1日時点）

◆◆問合せ先◆◆

本部〒107-0062

東京都港区南青山3-8-37 第2宮忠ビル3F

広報担当： 富井武史（大阪大学・理学部・2年生）

e-mail: koho1031@gmail.com tel: 080-5382-3270

jip
japan produce.